

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	1	1	土木総務費	1億4,035万9	1億3,550万4	290~295

【道路課】

○土木建築人材育成事業 11万7千円

定住対策として、土木建築関係の資格取得者に対し受験料の支援を行い、人材育成、人口流出の抑制を図りました。

■実績 11件 支給額 11万7千円

■内訳

- ・ 建築士 1件 (17,000円)
- ・ 土木施工管理技士 8件 (4,100円×1、8,200円×4、16,400円×3)
- ・ 管工事施工管理技士 0件 2級実地 2級学科実地 1級学科実地
- ・ 造園施工管理技士 0件
- ・ 建設機械施工技士 0件
- ・ 建築施工管理技士 2件 (4,700円×1、9,400円×1)
- ・ 電気工事施工管理技士 0件 2級実地 2級学科実地
- ・ 電気通信工事施工管理技士 0件

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	1	2	建築指導費	1,250万0	992万4	294~297

【都市整備課】

○建築指導費（建築確認申請等） 992万4千円

建築基準法に規定する建築確認及び完了検査、道路位置指定及び建設リサイクル法に規定する解体届出の受付、長期優良住宅法に規定する長期優良住宅の認定業務などを実施しました。

また、市有施設の新築及び改修等に関する設計及び監理を実施しました。

※建築確認等業務（歳入） 407万7千円

	申請件数	申請手数料
・ 建築確認申請	114 件	181 万 9 千円
・ 工作物確認申請	0 件	0 万 0 千円
・ 計画変更申請	2 件	2 万 0 千円
・ 完了検査申請	92 件	180 万 7 千円
・ 工作物完了検査申請	3 件	3 万 6 千円
・ 法第 43 条第 2 項認定申請	2 件	5 万 4 千円
小計①	213 件	373 万 6 千円
・ 道路位置指定	5 件	25 万 0 千円
・ 長期優良住宅認定申請	13 件	9 万 1 千円
・ 低炭素建築物認定申請	0 件	0 千円
小計②	18 件	34 万 1 千円
総計 (①+②)	231 件	407 万 7 千円

< 建築確認申請における現場調査の様子 >



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	1	道路橋りょう総務費	2,566 万 1	2,178 万 6	296~299
【道路課】						
道路拡幅等により寄附を受けた土地の登記等を行いました。						
・ 委 託		分筆図作成公共嘱託登記業務委託料	6 件	186 万 7 千円		
		道路台帳加除修正業務委託料	1 件	534 万 6 千円		

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	2	道路維持費	1億4,434万0	1億354万1	298~301

【道路課】

道路の維持管理のため、下記のとおり実施しました。

・修繕 (単独)

工種	件数	支出額
側溝	83件	1,232万3千円
舗装	59件	1,221万3千円
路肩	49件	1,087万1千円
歩道等	27件	496万4千円
計	218件	4,037万1千円

・委託 除草・樹木管理業務委託料 3件 847万9千円

・道路工事 (単独)

工種	件数	事業量	支出額
路肩補修維持	5件	L=283m	1,125万7千円
舗装補修維持	4件	A=1,397 m ²	680万2千円
計	9件		1,805万9千円

・電線共同溝整備工事 (社会資本整備総合交付金) 1,028万5千円

・官民連携無電柱化支援事業補助金 979万3千円

・原材料費 (単独)

種別	支出額
補修用材料費	96万3千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	3	道路新設改良費	7億8,898万1	3億8,680万7	300~305

【道路課】

○道路整備事業（単独） 8,068万9千円

道路等の改良整備について、下記のとおり実施しました。

- ・委託

測量調査設計業務委託	2件	2,412万7千円
公共嘱託登記業務委託	8件	387万4千円

・工事

工種	件数	事業量	支出額
改良工事	4件	L=233m	1,850万6千円
急傾斜地崩壊対策工事	1件	L=46m	1,838万3千円
計	5件		3,688万9千円

- ・道路整備事業費負担金 県営事業負担金 212万5千円
- ・用地取得 6筆 503.15㎡ 839万4千円
- ・補償金 1件 473万7千円

○船津地区高潮対策事業 4,196万7千円

船津地区の高潮対策として、下記のとおり実施しました。

- ・工事 3件 4,196万7千円

○道路整備事業（補助） 2億6,415万1千円

道路等の改良整備について、下記のとおり実施しました。

- ・委託

設計業務委託	1件	176万0千円
公共嘱託登記業務委託	4件	376万9千円
建物等調査業務委託	3件	197万0千円
土地鑑定評価業務委託	2件	17万6千円

- ・工事 改良工事 2件 L=148m 1,317万4千円

- ・用地取得 17筆 3,195.77㎡ 1億3,995万3千円
- ・建物等補償 工作物等補償 8件 1億332万3千円

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
8	2	4	橋りょう新設改良費	8,466万5	4,630万7	304~305

【道路課】

○道路メンテナンス事業（補助） 4,601万6千円

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修工事のための調査設計を行いました。

- ・調査設計業務委託 1件 1橋 518万9千円

道路橋定期点検要領（平成31年2月国土交通省道路局）に従い変状等の異常を把握するための点検を実施し、効率的な道路管理行政を行うための基礎資料を作成しました。

- ・橋りょう定期点検業務委託 1件 60橋 1,443万3千円

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修工事を行いました。

- ・橋りょう補修工事 6件 6橋 2,609万5千円



着工前



完成

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	5	交通安全施設等整備事業費	1,011万3	1,011万2	304~307

【道路課】

交通安全対策のため、施設の整備及び維持補修を下記のとおり実施しました。

・修繕 (単独)

工種	件数	支出額
道路照明灯	20件	92万0千円
道路反射鏡	8件	46万1千円
防護柵	4件	41万0千円
区画線等	6件	191万1千円
計	38件	370万2千円

・工事 (単独)

工種	件数	支出額
区画線等設置	1件	319万0千円
防護柵設置工	1件	267万7千円

・原材料費 (単独)

種別	支出額
交通安全補修用材料費	54万6千円

【区画線】 着工前



完成



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	3	1	河川整備事業費	1億7,692万8	6,981万5	306~309

【道路課】

○河川整備事業 359万6千円

河川（排水）整備のため、下記のとおり実施しました。

・修繕（単独）

工種	件数	支出額
排水路(水路)修繕	10件	222万0千円

・委託 新田潮調整池浚渫業務委託 125万0千円

【都市整備課】

○広馬場下公有水面埋立事業費 6,622万円

船津地区の高潮浸水被害を防止し地域住民の人命と財産を守るとともに、防災機能の強化を図るため、広馬場交差点から島原船津駅（旧南島原駅）へ向かう途中の船溜まり約4,500㎡の埋立工事を実施しました。

建物等調査業務委託 3件

広馬場下公有水面埋立工事 2件

広馬場下公有水面埋立既設護岸保護工事 2件

広馬場下公有水面埋立土砂搬入路整備工事 1件

移転補償 3件



埋立状況 (令和3年7月)

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
8	4	1	港湾管理費	2億621万4	7,388万5	308～311

【道路課】

○港湾管理経費 3,529万円

島原港ターミナルビル維持管理費 等



＜島原市の海の玄関口 島原港ターミナルビル＞

○港湾整備事業費負担金 3,584万1千円

港湾整備事業について下記のとおり負担しました。

事業名	箇所	事業費	地元負担金
社会資本整備総合交付金 (地域自立活性化)	外港地区	3,358万0千円	461万7千円
防災・安全社会資本整備交付金 (海岸保全・高潮浸食)	内港霊南地区	741万7千円	51万9千円
防災・安全社会資本整備交付金 (港湾改修・防災安全対策)	島原港 (三会地区)	632万5千円	94万9千円
防災・安全社会資本整備交付金 (港湾統合補助)	島原港 (内港霊南地区)	1,613万1千円	268万9千円
防災・安全社会資本整備交付金 (港湾統合補助)	島原港 (内港霊南地区)	3,478万5千円	579万7千円
社会資本整備総合交付金 (地域自立活性化)	島原港 (外港地区)	2億6,118万2千円	1,569万0千円
防災・安全社会資本整備交付金 (海岸保全・高潮浸食)	島原港 (内港霊南地区)	777万7千円	4万3千円
防災・安全社会資本整備交付金 (海岸保全・高潮浸食)	島原港 (内港霊南地区)	3,522万3千円	246万6千円
その他 その他 海岸自然災害防止事業	島原港 (内港霊南地区) (安徳海岸)	7,039万8千円	307万1千円
計		4億7,281万8千円	3,584万1千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	3	街路整備事業費	4億7,311万2	1億6,410万5	322~325

【都市整備課】

○靈南山ノ神線整備事業 4,452万3千円

国道 251 号（蛭子町一丁目）から島原郵便局、白土湖を經由し、島原総合運動公園を結ぶ都市計画道路であり、市街地中心部の交通混雑の解消と地域住民の利便性の向上及び地域の活性化を図るため整備するものです。

上の原工区（約 L=360m）の道路改良工事および舗装工事を実施しました。

- ・道路改良工事 L=234m
 - 擁壁工 L=34m 側溝工 L=579m
 - 舗装工 L=454 m² 路盤工 A=1,806 m²
- ・舗装工事 L=177.5m
 - 舗装工 A=1,483 m² 路盤工 A=1,479 m²
 - 舗装工(透水性) A=585 m² 防護柵 L=55m



整備状況（令和3年4月）

○親和町湊広場線整備事業 6,261万8千円

国道57号(親和町)から島原外港IC、ひょうたん池公園、島原病院入口を經由し国道251号(白山町)を結ぶ、都市計画道路であり、島原病院へのアクセス道路としての役割を担い、地域住民の利便性の向上と沿線の良好な市街地形成を図るため整備するものです。

令和2年3月に、新湊工区(約L=490m)及び、下川尻工区(約L=500m)の事業が認可され、令和2年度から事業に着手しました。

令和2年度は、事業実施に必要な建物等調査業務や用地の取得、物件補償などを行いました。

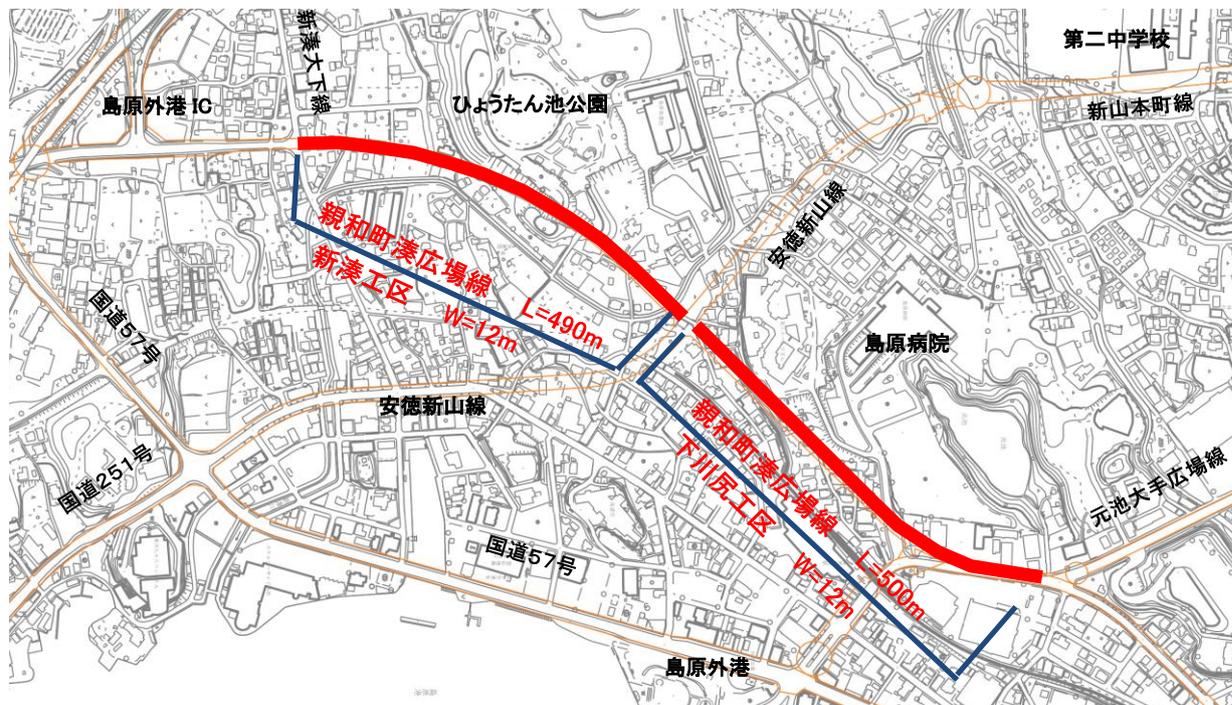
- ・建物等調査業務委託 4件
- ・設計業務委託 1件(橋梁設計)
- ・土地鑑定評価業務委託 1件
- ・用地測量業務 用地幅杭設置 1式 分筆登記 1式
- ・用地費 用地取得 5件 8筆 758.25㎡
- ・補償費 建物等補償 4件(建物2件、工作物等2件)



新湊工区(市道 新湊大下線付近)



下川尻工区(島原病院入口付近)



○安德新山線整備事業 3,509万2千円

国道251号水無川橋から国道57号交差点を經由し、都市計画道路新山本町線へ接続する都市計画道路であり、市街地中心部の交通混雑の解消と、地域住民の利便性の向上及び沿線地域の良好な市街地形成を図るため整備するものです。

令和2年3月に、南下川尻町の市道湊町新湊線から都市計画道路 親和町湊広場線との交差点までの約280m区間の事業が認可され、令和2年度から事業に着手しました。

令和2年度は、事業実施に必要な建物等調査業務や用地の取得、物件補償などを行いました。

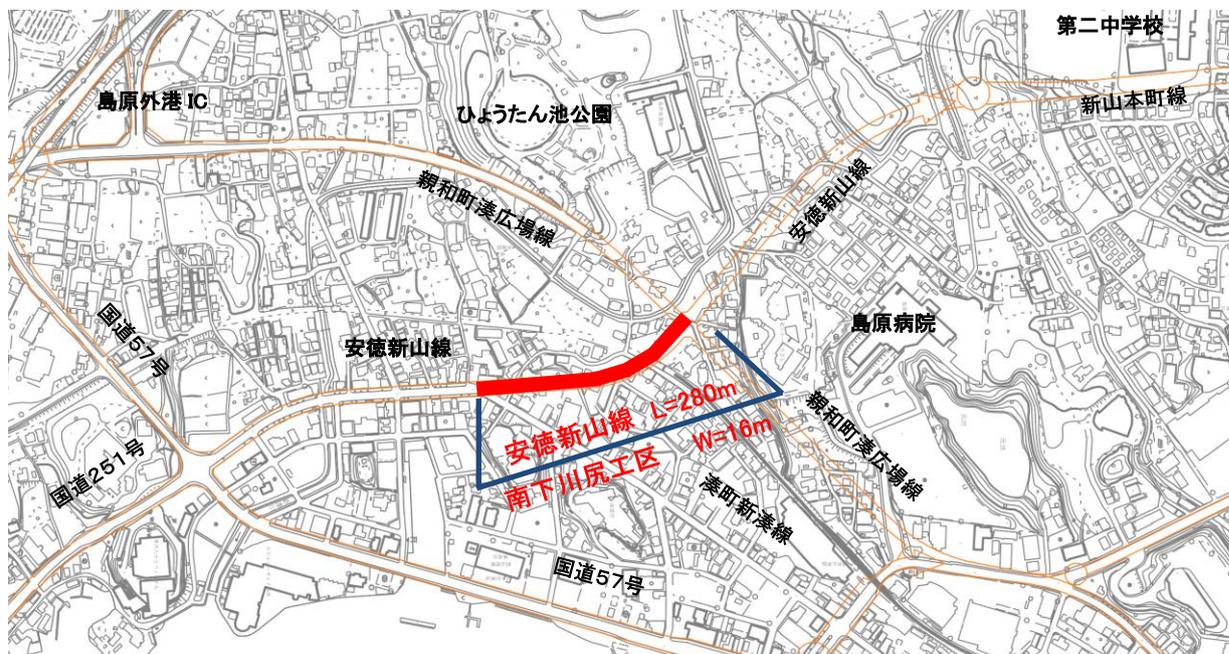
- ・建物等調査業務委託 2件
- ・土地鑑定評価業務委託 1件
- ・用地測量業務 用地幅杭設置 1式 分筆登記 1式
- ・用地費 用地取得 1件 2筆 1,159.63㎡
- ・補償費 建物等補償 3件(建物1件 工作物等2件)



市道湊町新湊線（南下川尻町）付近



幅員が狭小な市道（南下川尻町）



○県営事業負担金（新山本町線整備事業） 2,187万3千円

都市計画道路安徳新山線から第二中学校を經由し、県道野田島原線を結ぶ都市計画道路であり、市街地中心部の交通混雑の解消と、地域住民の利便性の向上及び通学路の安全を図るため整備するものです。

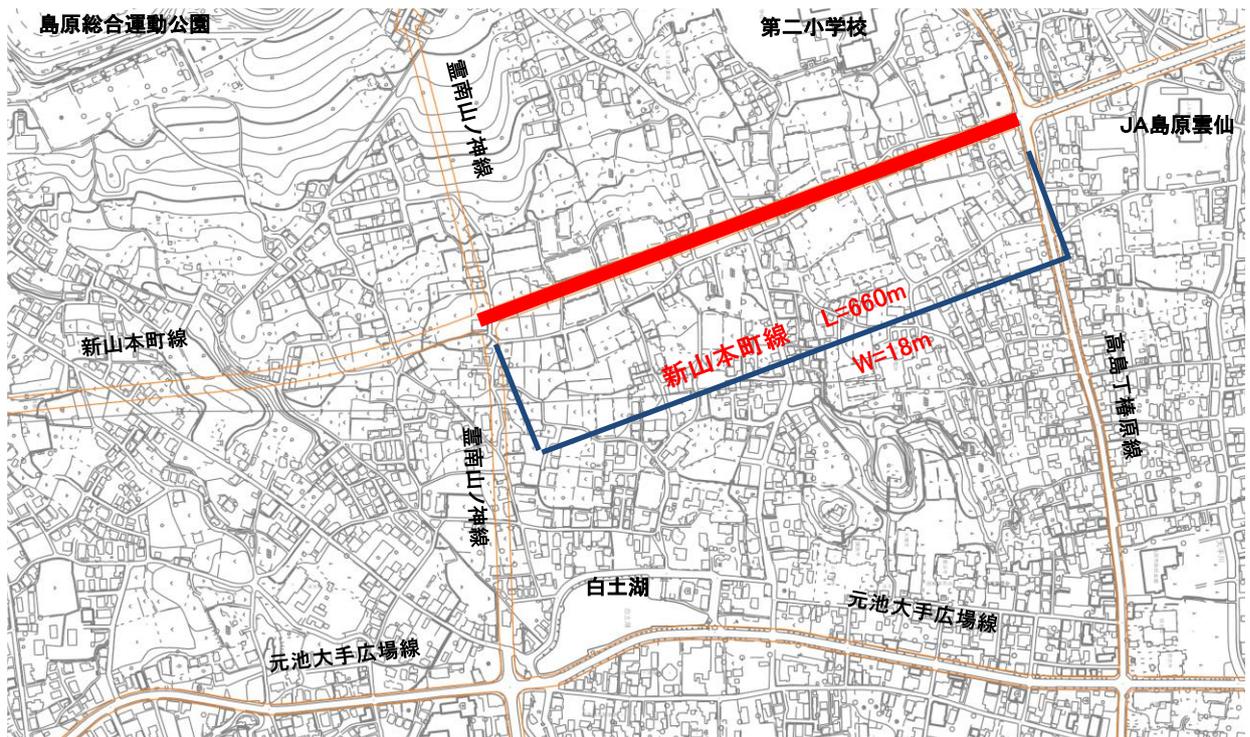
霊南山ノ神線との交差点から高島丁椿原線との交差点までの約 660m区間において、長崎県が実施した整備事業に対し負担金を支出しました。



高島丁椿原線交差点（萩が丘二丁目）付近



幅員が狭小な市道（上の原三丁目）



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	4	都市下水路費	3,584万8	3,475万3	324~327

【都市整備課】

○晴雲団地都市下水路改修工事 1,196万1千円

晴雲団地都市下水路は、昭和36年から施設が建設され50年以上が経過しており、老朽化が著しい箇所から、年次計画で補強補修等を行い施設の長寿命化を図るものです。

城内城西中の丁線・西城内線(島原高校グラウンド西側)約38mの区間において、頂版取替など劣化状況に応じた改修工事を行いました。(累計234m整備済)



都市下水路内の劣化状況



鉄筋露出腐食状況

○音無川都市下水路護岸嵩上工事 1,423万1千円

大潮と大雨が重なったことが原因で、近年、音無川都市下水路が氾濫し、高島二丁目付近の道路が冠水し、周辺の住宅に浸水被害を及ぼしており、その被害を防止するため、市道高島丁椿原線 有明橋から上流220mの区間において、護岸嵩上工・逆流防止扉等の設置、および有明橋から下流60mの区間において、護岸嵩上工事を行いました。



嵩上状況 (三会原土地改良区付近)



浸水被害防止状況(商工会議所裏)

○都市下水路清掃業務委託 244万6千円

音無川都市下水路の河床に繁茂した藻により流水が阻害され、また、空き缶、浮遊ゴミが滞留し景観を損なっているため藻の除去及び清掃を行いました。



清掃前



清掃後 (旧NTT前付近)

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	5	街なみ環境整備事業費	676万2	331万4	326～327

【都市整備課】

○街なみ環境整備事業費 331万4千円

□美しいまちづくり推進事業 331万4千円

長崎県が「まちづくり景観資産」として登録した建造物の保全・修景工事費の一部に対して補助を行いました。

※まちづくり景観資産とは

長崎県内各地に残されている個性的で魅力のある「まちなみ」、地域景観の核となる「建造物」や「樹木」を登録し、保全と活用を図る制度。

[補助率等]

- ・補助率：補助対象工事費の2/3以内
- ・補助額限度：300万円

[実績]

- ・件数：1件
- ・総事業費：1,782万円
- ・補助対象事業費：1,782万千円
- ・補助金：300万千円

(市費：150万円、県費150万円(長崎県21世紀まちづくり推進総合補助金))



着工前



完成

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	6	1	住宅管理費	1億7,807万2	1億6,922万3	326～331

【都市整備課】

○市営住宅一覧（入居状況：令和3年3月31日現在）

湯江団地	20戸	大三東団地	12戸	津吹団地	21戸
下宮第1団地	20戸	下宮第2団地	19戸	稗田団地	1戸
杉山団地	0戸	柏野住宅	103戸	桜馬場住宅	19戸
宮の町住宅	8戸	萩が丘住宅	199戸	霊南住宅	10戸
坂上住宅	0戸	花の丘団地	100戸	新山団地	32戸
魚見第1団地	75戸	秩父が浦住宅	16戸	梅園団地	119戸
仁田住宅	10戸	計	784戸		

○柏野住宅屋根・外壁改修工事設計業務 170万5千円

（事業内容）

外壁・屋根等が劣化している柏野住宅の長寿命化を図るため、全12棟のうち令和3年度改修工事を予定している3棟（つばき・まつ・ひのき）について、屋根及び外壁改修の設計を行いました。

○柏野住宅屋根・外壁改修事業 5,485万8千円

（事業内容）

柏野住宅全12棟のうち3棟（うめ・もも・さくら）について、施設の長寿命化及び居住環境の改善、住宅の良好な住環境の整備を図るため、屋根及び外壁の改修工事を行いました。

竣工



○火災警報器取替事業 426万8千円

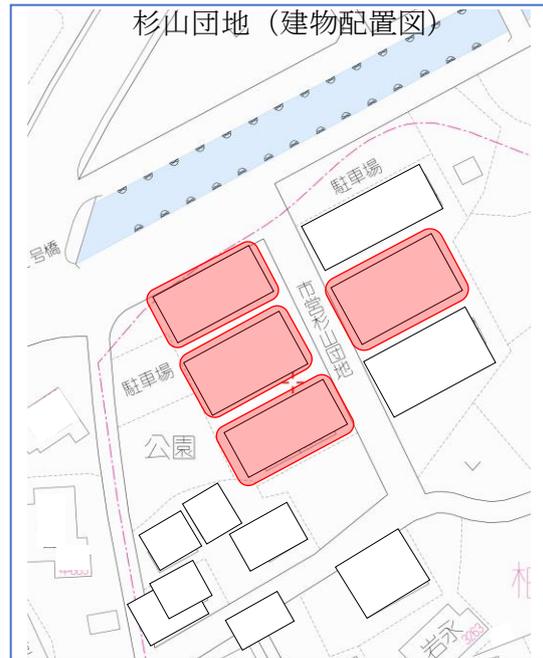
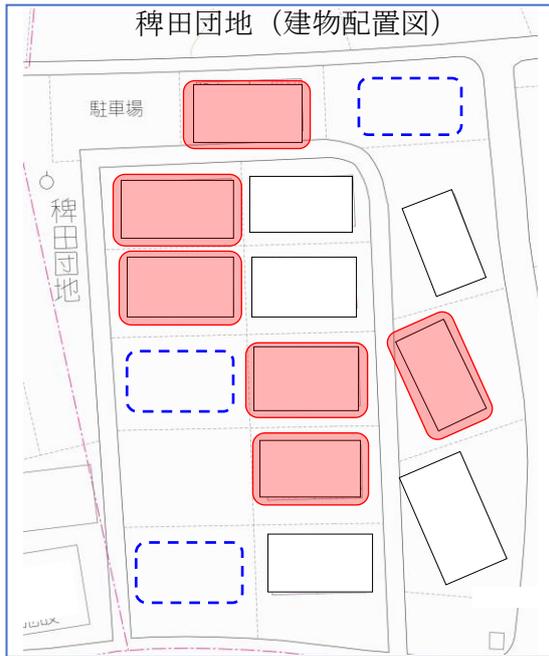
（事業内容）

設置後10年が経過し交換の目安になっている9団地（湯江団地、大三東団地、津吹団地、下宮第1団地、下宮第2団地、宮の町住宅、魚見第1団地、秩父が浦住宅、仁田住宅）の213戸について、火災発生時の被害を最小限にするため、火災警報器の取替工事を行いました。

○市営住宅解体事業 2,658万6千円

（事業内容）

高原市公共施設等総合管理計画に基づき廃止する団地のうち、入居者移転により空き棟となった稗田団地（6棟12戸）及び杉山団地（4棟8戸）について、建物解体工事を行いました。



- 令和2年度 解体棟
- 令和元年度 解体済

(杉山団地)

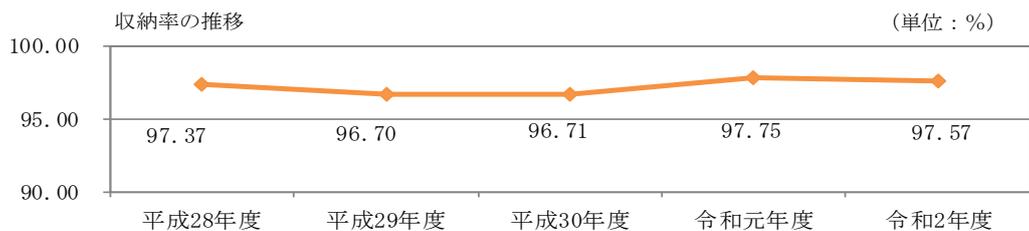
着工前

解体後



○住宅使用料（家賃+駐車場使用料）の収納率の推移

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
調定額 (千円)	220,082	219,246	218,574	211,740	204,539
収納額 (千円)	214,287	212,013	211,377	206,982	199,564
収納率 (%)	97.37	96.70	96.71	97.75	97.57



	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	6	2	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業費	275万8	266万0	330～331

【都市整備課】

○高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業 266万円

長崎県高齢者向け優良賃貸住宅供給計画の認定を受けた住宅(生き生き横丁)の入居者で、市が管理する住戸(12戸)の入居者に対して、契約家賃と入居者負担額の差額について家賃補助を行いました。

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	6	4	空き家等対策事業費	1,025万0	931万9	330～333

【都市整備課】

○空き家等対策事業費 931万9千円

安全・安心な住環境づくりを促進するため、老朽化し危険な空き家住宅の除却を行う方に、工事費の一部を助成し支援を行いました。

老朽危険空き家除却支援事業 917万4千円

[補助率等]

- ・補助率：除却対象工事費の40%以内
- ・補助限度額：50万円

[実績]

- ・件数：21件
- ・総事業費：2,795万2千円 補助金917万4千円(内訳 国1/2 市1/2)
- ・国費金額：458万7千円(社会資本整備総合交付金)

[老朽危険空き家の除却状況]



着工前



解体後

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	7	1	下水道費	9,858万6	6,923万2	332~335

【道路課】

○保守管理業務委託 75万2千円

仁田団地（121世帯）及び船泊団地（51世帯）コミュニティ・プラントの保守点検を実施し、適正な維持管理に努めました。

○浄化槽設置整備事業 5,680万8千円

し尿及び生活雑排水による公共用水域の水質汚濁の防止及び公衆衛生の向上に寄与するため、浄化槽を設置整備する者に対し補助を行いました。

区分	設置基数	補助単価	補助金額
5人槽 (単独処理浄化槽撤去)	109基 (0)基	33万2千円 9万0千円	3,618万8千円 0千円
6~7人槽 (単独処理浄化槽撤去)	39基 (1)基	41万4千円 9万0千円	1,614万6千円 90千円
8~50人槽 (単独処理浄化槽撤去)	8基 (0)基	54万8千円 9万0千円	438万4千円 0千円
計	156基		5,680万8千円

(令和3年3月31日現在)

住民基本台帳人口 ①	汚水処理人口 ②	汚水処理人口 普及率 ②/①	住宅用合併処理 浄化槽処理人口 (コミュニティ・プラント 処理人口除く) ③	浄化槽人口普及率 ③/①
43,924人	22,084人	50.3%	21,600人	49.2%

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
9	1	3	消防施設費	5,055 万 4	4,432 万 4	336~339

【市民安全課】

○消防施設整備事業費 4,432 万 4 千円

島原市消防団の活動に必要な施設整備や消防水利の整備を行いました。

(主な施設・資機材等)

区分		数量	金額
消防ポンプ自動車更新 (第3分団)		1 台	1,980 万 0 千円
消防団第 11 分団管轄 耐震性貯水槽設置工事		1 か所	767 万 3 千円
消防団第 18 分団管轄 耐震性貯水槽設置工事		1 か所	878 万 7 千円
消火栓	新設工事	3 基	575 万 4 千円
	布設替工事	10 基	



【第3分団消防ポンプ自動車】



【消防団第 11 分団管轄耐震性貯水槽設置工事】



【小山新山線消火栓設置工事】

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
9	1	4	災害対策費	1億91万8	8,432万6	338~341

【市民安全課】

○自主防災会組織強化事業 294万4千円

雲仙普賢岳噴火災害以降、形骸化していた自主防災会を活性化させるため、令和2年度については、白山地区自主防災会の組織再編の取り組み、地域防災マップづくり、島原市自主防災会組織活動補助金制度の創設等を行い、以下の事業を実施し自主防災会の強化を図りました。

◇令和2年度取り組み事業

取組事業概要
白山地区自主防災会リーダー研修会 9/25(36 自主防災会参加)
自主防災会リーダー研修会 10/7(321人参加、場所:サブアリーナ)
三会地区防災避難訓練 11/8(1,290人参加)
地域防災マップ作成支援事業(6 自主防災会)
自主防災会独自で訓練等実施(15 自主防災会)
安中地区自主防災会コミュニティ助成事業
自主防災会長会議(全地区で235人参加):三会 6/26、杉谷 7/13、森岳 6/30、霊丘 6/28、白山 6/21、有明 6/29



【地区自主防災会会長会議】



【自主防災リーダー研修会】



【地域防災マップづくり】



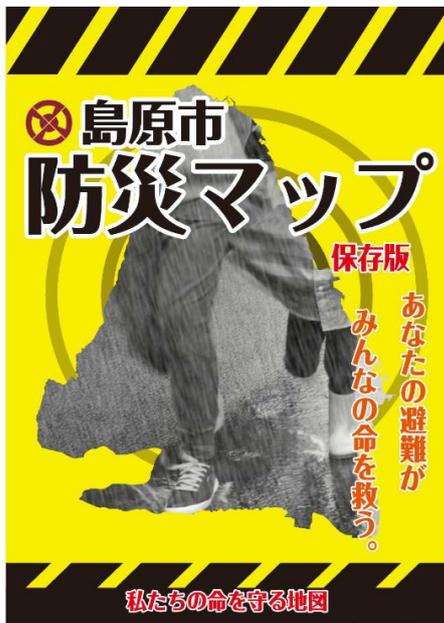
【自主防災会主導の訓練】



【安中地区自主防災会
コミュニティ助成事業】

○島原市ハザードマップ作成業務委託事業 594万円

雲仙普賢岳噴火災害から30年を迎えることから、市民の皆様と風水害や地震などの自然災害に関する基本的な情報を共有し、事前備えとして役立てていただくことを目的に作成したもので、土砂災害警戒区域、大手川浸水想定区域を掲載するとともに、津波や雲仙岳の噴火や溶岩ドーム崩壊の想定最大範囲、避難所などを掲載し、様々な災害に対す知識と備えを1冊の防災マップとして作成し、市内の全世帯及び事業所へ配布しました。



【島原市防災マップ(冊子版)】



【島原市防災マップ(市内全域版)】

○自動車購入事業 431万1千円

災害時における避難所等でのトイレ事情を解消するためにトイレカーを購入しました。

また、被災地支援として令和2年7月豪雨災害で被害を受けた球磨村へ約4か月間貸し出しを行いました。



【トイレカー】



【球磨村へ支援】